再就職手当関係書類の記入方法
(申請者用)

ハローワーク墨田　雇用保険給付課
TEL 03-5669-8968(平日 8：30～17：15)

1.　必要な書類について

再就職手当の申請につきましては、下記のうち複数の書類が必要になります。
具体的には、就職の申告をされた際にハローワーク墨田の窓口でお渡しした、「再就職手当に必要な書類のご案内（A4 一枚）」をご覧いただき、チェックのついている書類をご用意ください。
就職日の 1 か月後までを目安に必要な書類を揃え、郵送または来所にてご申請ください。

①受給資格者証(記入不要)　★封入忘れずに★
②採用証明書
③再就職手当支給申請書
④離職前事業主との関連についての証明書　★記入間違いが多いです★
⑤再就職手当要件確認書(記入不要)
⑥失業認定申告書
⑦紹介事実証明書
⑧その他(　　)

※1　②③④⑥⑦の書類については、記入方法を 3～7 ページ目にまとめていますので、内容をご確認ください。
※2　窓口にて持参の場合、受付時間は平日 8:30～17:15 までとなっております。
※3　再就職手当の入金につきましては、書類の受理後一定の審査を必要とするため、入金までに **3 週間** 程度時間を要します。処理後、受給資格者証を郵送にてご返却いたしますので、大切に保管ください。

書類内容に不備がある場合、ご提出いただいた書類をお返しする場合があります。
ご自身の記載内容、事業主の証明内容に不備がないか確認をお願いします。

注意!以下の場合は、必ずハローワークまでご連絡ください。

●本人の申告した就職日と、会社の証明した就職日が異なっていた場合
⇒再就職手当の申請書類を受理できない場合があります。必ずご連絡ください。
●雇用保険に加入しない労働契約であった場合(週の所定労働時間が 20 時間未満の場合)
⇒再就職手当の支給要件を満たしません。仕事探しを希望する場合は、基本手当を再開できる場合がありますので、ご連絡ください。
●就職した会社を早期に退職した場合
⇒受給期間内に再び離職した場合は、受給期間が満了するまでの間に、残っている範囲内で給付を再開することができます。退職日の翌日以降に、受給資格者証をお持ちのうえ、ハローワークまでご来所ください。

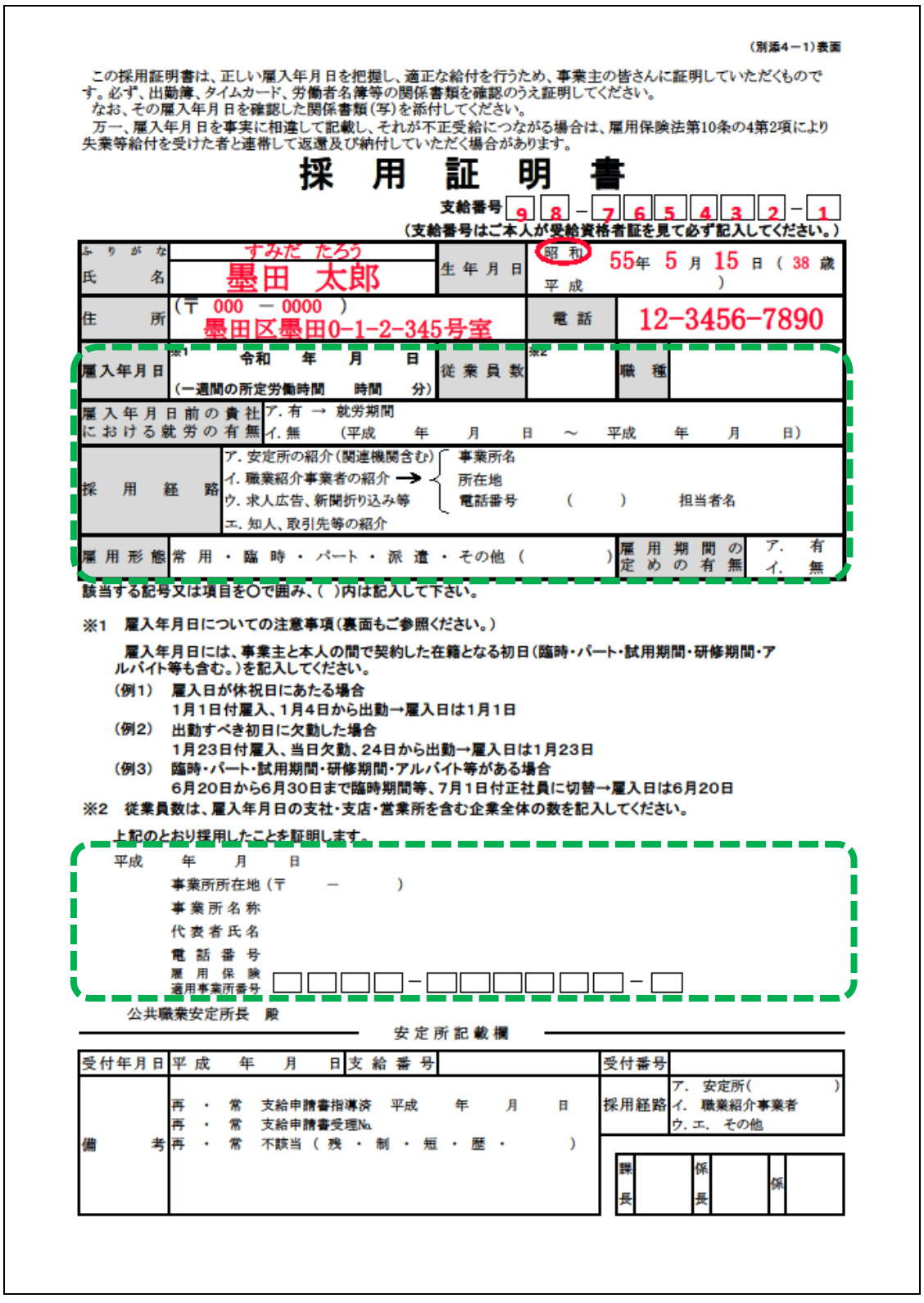
2.　各書類の記載方法

～採用証明書の記載方法～

赤字の箇所をご本人が記入(支給番号、氏名、生年月日、住所、電話番号)

[　　]の箇所は**事業主に証明を依頼**してください

記入例



（別添4－1）表面

この採用証明書は、正しい雇入年月日を把握し、適正な給付を行うため、事業主の皆さんに証明していただくものです。必ず、出勤簿、タイムカード、労働者名簿等の関係書類を確認のうえ証明してください。
なお、その雇入年月日を確認した関係書類(写)を添付してください。
万一、雇入年月日を事実に相違して記載し、それが不正受給につながる場合は、雇用保険法第10条の4第2項により失業等給付を受けた者と連帯して返還及び納付していただく場合があります。

採　用　証　明　書

支給番号 9 8 － 7 6 5 4 3 2 － 1
（支給番号はご本人が受給資格者証を見て必ず記入してください。）

ふりがな 氏名	すみだ　たろう 墨田　太郎	生年月日	昭和 55年 5月 15日（38歳） 平成
住所	（〒 000 － 0000 ） 墨田区墨田0-1-2-345号室	電話	12-3456-7890

雇入年月日	※1 令和　年　月　日 （一週間の所定労働時間　時間　分）	従業員数	※2	職種	
雇入年月日前の貴社における就労の有無	ア. 有 → 就労期間 イ. 無　（平成　年　月　日 ～ 平成　年　月　日）				
採用経路	ア. 安定所の紹介（関連機関含む） イ. 職業紹介事業者の紹介 → 事業所名 / 所在地 / 電話番号　（　）　担当者名 ウ. 求人広告、新聞折り込み等 エ. 知人、取引先等の紹介				
雇用形態	常用・臨時・パート・派遣・その他（　）	雇用期間の定めの有無	ア. 有 イ. 無		

該当する記号又は項目を○で囲み、（ ）内は記入して下さい。

※1　雇入年月日についての注意事項（裏面もご参照ください。）

雇入年月日には、事業主と本人の間で契約した在籍となる初日（臨時・パート・試用期間・研修期間・アルバイト等も含む。）を記入してください。

（例1）　雇入日が休祝日にあたる場合
1月1日付雇入、1月4日から出勤→雇入日は1月1日

（例2）　出勤すべき初日に欠勤した場合
1月23日付雇入、当日欠勤、24日から出勤→雇入日は1月23日

（例3）　臨時・パート・試用期間・研修期間・アルバイト等がある場合
6月20日から6月30日まで臨時期間等、7月1日付正社員に切替→雇入日は6月20日

※2　従業員数は、雇入年月日の支社・支店・営業所を含む企業全体の数を記入してください。

上記のとおり採用したことを証明します。

平成　年　月　日
事業所所在地（〒　－　）
事業所名称
代表者氏名
電話番号
雇用保険適用事業所番号 □□□□－□□□□□□－□

公共職業安定所長　殿

安定所記載欄

受付年月日	平成　年　月　日	支給番号		受付番号	
備考	再・常　支給申請書指導済　平成　年　月　日 再・常　支給申請書受理No. 再・常　不該当（残・制・短・歴・　）			採用経路	ア. 安定所（　） イ. 職業紹介事業者 ウ. エ. その他

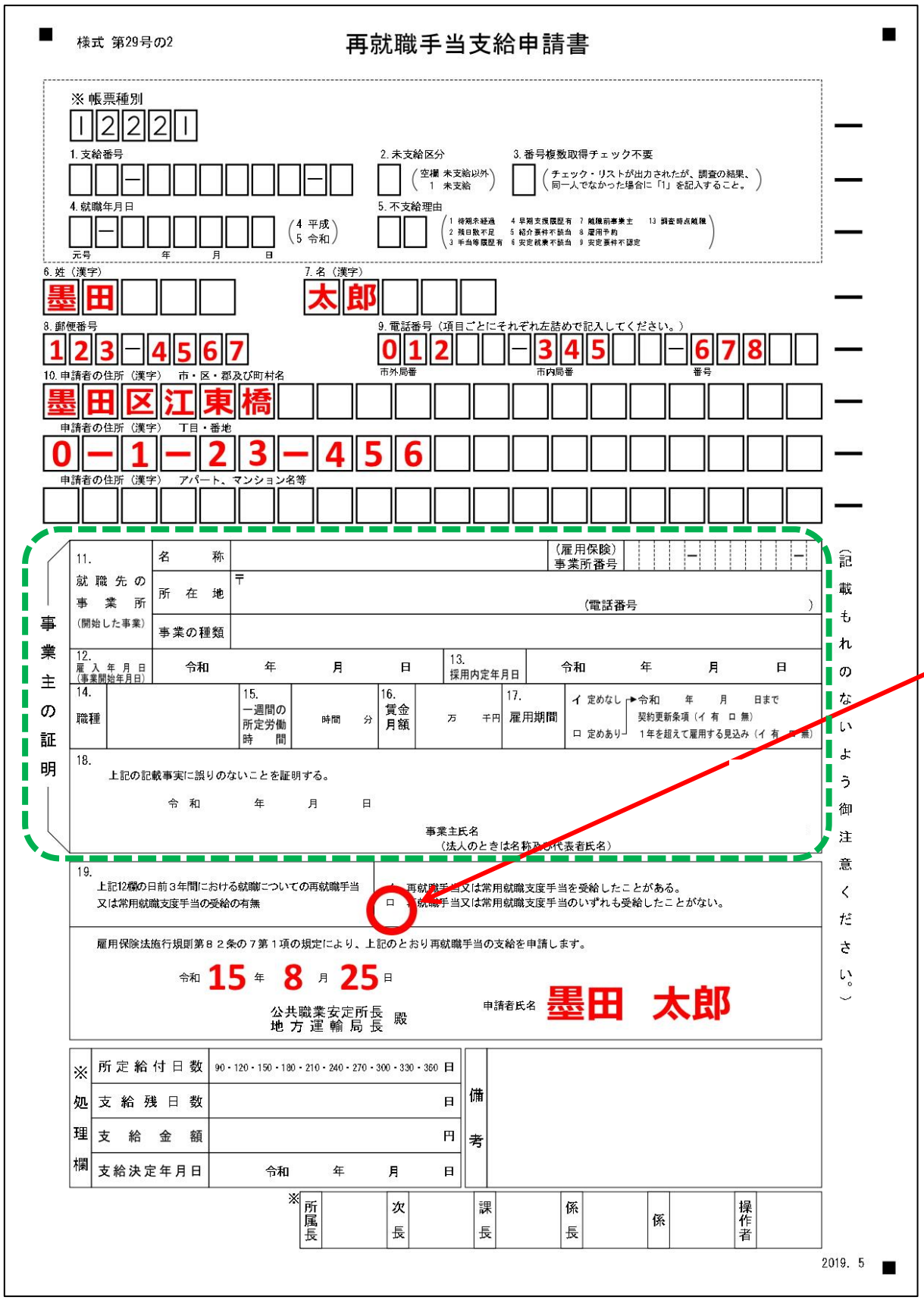
課長		係長		係	

～再就職手当支給申請書の記載方法～

赤字の箇所をご本人が記入(6.7.8.9.10.19 欄)

[　　] の箇所は**事業主に証明を依頼**してください

記入例

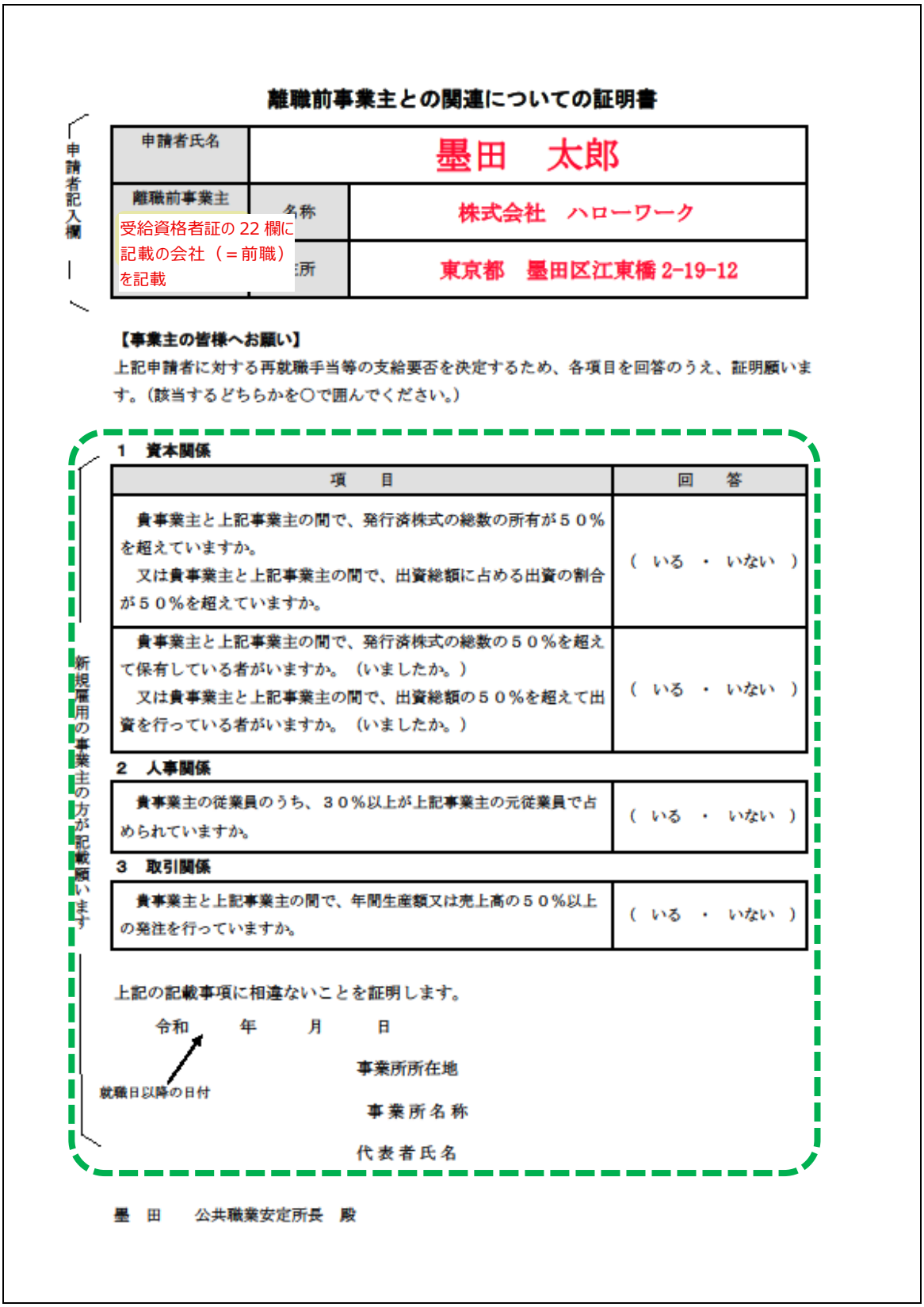


～離職前事業主との関連についての証明書の記載方法～

赤字の箇所を**本人が記入**(申請者氏名、離職前事業主名称、離職前事業主住所)

[　　]の箇所は**事業主に証明を依頼**してください

記入例



離職前事業主との関連についての証明書

申請者記入欄

申請者氏名	墨田　太郎	
離職前事業主	名称	株式会社　ハローワーク
	所	東京都　墨田区江東橋 2-19-12

受給資格者証の 22 欄に記載の会社（＝前職）を記載

【事業主の皆様へお願い】

上記申請者に対する再就職手当等の支給要否を決定するため、各項目を回答のうえ、証明願います。(該当するどちらかを○で囲んでください。)

新規雇用の事業主の方が記載願います

1　資本関係

項　目	回　答
貴事業主と上記事業主の間で、発行済株式の総数の所有が５０％を超えていますか。 又は貴事業主と上記事業主の間で、出資総額に占める出資の割合が５０％を超えていますか。	(　いる　・　いない　)
貴事業主と上記事業主の間で、発行済株式の総数の５０％を超えて保有している者がいますか。(いましたか。) 又は貴事業主と上記事業主の間で、出資総額の５０％を超えて出資を行っている者がいますか。(いましたか。)	(　いる　・　いない　)

2　人事関係

貴事業主の従業員のうち、３０％以上が上記事業主の元従業員で占められていますか。	(　いる　・　いない　)

3　取引関係

貴事業主と上記事業主の間で、年間生産額又は売上高の５０％以上の発注を行っていますか。	(　いる　・　いない　)

上記の記載事項に相違ないことを証明します。

令和　　年　　月　　日

就職日以降の日付

事業所所在地

事業所名称

代表者氏名

墨　田　　公共職業安定所長　殿

～失業認定申告書の記載方法～

1 欄、提出日、受給資格者氏名、支給番号をボールペンでご記入ください。

記入例

様式第14号（第22条関係）（第1面）

失業認定申告書

（必ず第２面の注意書きをよく読んでから記入してください。）

※ 帳票種別　11203

1 失業の認定を受けようとする期間中に、就職、就労又は内職・手伝いをしましたか。

ア した（就職又は就労をした日は○印、内職又は手伝いをした日は×印を右のカレンダーに記入してください。）

イ しない

月								月							
	1	2	3	4	5	6	7		1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14		8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21		15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28		22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31						29	30	31				

（あてはまるものに○をつけ、必要なことがらを記入してください。）

2 内職又は手伝いをして収入を得た人は、収入のあった日、その額（何日分か）などを記入してください。

収入のあった日	月	日	収入額	円	何日分の収入か	日分
収入のあった日	※期間中１日４時間未満で働いた場合は２欄も記載が必要			分		
収入のあった日	月	日	収入額	円	何日分の収入か	日分

3 失業の認定を受けようとする期間中に、求職活動をしましたか。

ア 求職活動をした

(1) 求職活動をどのような方法で行いましたか。

求職活動の方法	活動日	利用した機関の名称	求職活動の内容
(ア) 公共職業安定所又は地方運輸局による職業相談、職業紹介等			
(イ) 職業紹介事業者による職業相談、職業紹介等			
(ウ) 派遣元事業主による派遣就業相談等			
(エ) 公的機関等による職業相談、職業紹介等			

(2) (1) の求職活動以外で、事業所の求人に応募したことがある場合には、下欄に記載してください。

事業所名、部署	応募日	応募方法	職種	応募したきっかけ	応募の結果
（電話番号　　）				(ア) 知人の紹介 (イ) 新聞広告 (ウ) 就職情報誌 (エ) インターネット (オ) その他	
（電話番号　　）				(ア) 知人の紹介 (イ) 新聞広告 (ウ) 就職情報誌 (エ) インターネット (オ) その他	

イ 求職活動をしなかった　（その理由を具体的に記載してください。）

4 今、公共職業安定所又は地方運輸局から自分に適した仕事が紹介されれば、すぐに応じられますか。

ア 応じられる

イ 応じられない　→ イに○印をした人は、すぐに応じられない理由を第２面の注意の8の中から選んで、その記号を○で囲んでください。　（ア）　（イ）　（ウ）　（エ）　（オ）

5 就職もしくは自営した人又はその予定のある人が記入してください。

ア 就職　（1）公共職業安定所又は地方運輸局紹介　（2）地方公共団体又は職業紹介事業者紹介　（3）自己就職　月　日より就職（予定）　（就職先事業所）事業所名（　）所在地（〒　）電話番号（　）

イ 自営　月　日より自営業開始（予定）

雇用保険法施行規則第２２条第１項の規定により上記のとおり申告します。

令和 3 年 8 月 7 日（この申告書を提出する日）

公共職業安定所長 地方運輸局長 殿

受給資格者氏名　墨田　太郎

支給番号（　01-2345-67　）

就職日以降の日付を記入

※公共職業安定所又は地方運輸局記載欄						
1. 支給番号	—	—	2. 未支給区分	（空欄：未支給以外 1：未支給）	3. 待期満了年月日	年 月 日
4. 支給期間	（初日）年 月 日 ～ （末日）月 日		5. 内職又は手伝いによる収入	（労働日数） 日 （収入額） 円	6. 基本手当支給日数	日
7. 就業手当支給日数	日		8. 就業手当に相当する特別給付支給日数	日	9. 就職年月日一経路	年 月 日 —

次回認定日・時間	認定対象期間	※連絡事項
月 日　時から　時まで	月 日～ 月 日	

備考	取扱者印	操作者印

2019. 5

～紹介事実証明書の記載方法～

青いマーカーの引いてある箇所・・・**本人が記入**(申請者氏名、生年月日、年齢、性別、住所)

オレンジマーカーの引いてある箇所・・**職業紹介事業者に**証明してもらってください。

記入例(赤字の箇所をご記入ください)

紹介事実証明書

申請者の記入欄

ふりがな	すみだ　　たろう
氏　　名	墨田　太郎
生年月日・年齢・性別	㊂和・平成　56　年　7　月　8　日（　35　歳）　㊚・女
住　　所	（〒130　－　8609　） 墨田区江東橋 2-19-12

職業紹介事業者の記入欄

紹介した事業所名 （申請者の再就職先）	
紹介した事業所所在地	（〒　　－　　）
紹介年月日	令和　　年　　月　　日

上記の事実に誤りのないことを証明します。

令和　　年　　月　　日

厚生労働大臣許可事業所
- 所在地　（〒　　－　　）
- 名　称
- 代表者氏名
- 厚生労働大臣許可番号　　－　　－
- 電話番号
- 紹介担当者氏名

3.　証明が終わったら

事業主から証明が戻ってきたら、申請書類をご提出いただきます。(提出方法は 1 ページを参照)

提出書類に不備があると、書類審査をすることができません。下記に特に重要なチェックポイントを記載しましたので、チェックしたうえでご提出をお願いします。

□申請者の申告した就職日と、会社の証明した雇入日が一致している。

①受給資格者証に記載されている就職日（青色のスタンプ）
②採用証明書の「雇入年月日」欄
③再就職手当支給申請書の 12 欄
の 3 つを比較してください。

□再就職手当支給申請書の 13 欄「採用内定年月日」が記載されている。

再就職手当の支給要件の一つ「採用の内定が受給資格決定日以後であること」を確認するため、必ず記載が必要です。

□再就職手当支給申請書の 17 欄「1 年を超えて雇用する見込み有無」に〇がついている。

※雇用期間の定めがある、有期契約者のみが対象

上記のいずれかにチェックが入らない場合、書類不備となり受付ができません。事業主に各種訂正を依頼してください。 ※上記の全てにチェックのついている場合でも、書類不備がないことを確約するものではありません。申請の際の参考としてください。

R7.6.1